

南城市地域公共交通網形成計画
(南城市地域公共交通計画)

別紙 (案)

令和7年4月14日

南 城 市

1.地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

南城市は、平成 18 年 1 月 1 日に、1 町 3 村（佐敷町・知念村・玉城村・大里村）の合併により誕生しました。沖縄本島南部の東海岸、県都那覇市から南東へ約 12 km に位置し、静穏な中城湾と太平洋に面しています。東西 18 km、南北 8 km の広がりを持ち、面積は 49.94k m²、人口は 44,043 人(令和 2 年度国勢調査人口等基本調査)となっています。西側を除く三方が海岸線に接してはいますが、平坦地が少なく傾斜の多い地形となっています。

このような状況を踏まえ、南城市では平成 25 年度にドア to ドアのフルデマンドバス「おでかけなんじい」の実証運行を開始し、平成 28 年度から本格運行に至っています。

令和元年 9 月には、「南城市地域公共交通再編実施計画」が認定され、同年 10 月 1 日に再編を実施しました。再編により「おでかけなんじい」は、再編で新たに運行開始した「支線バス」を補完する交通手段と役割が見直されました。再編後も利用実態を踏まえ、適宜見直しを行っており、令和 6 年 10 月からは、利用者数が少なかった朝、夕の運行時間帯を短縮しています。

2.地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1)事業の目標

目標値は、運行計画を見直した令和 6 年 10 月から令和 7 年 3 月までの半年間の利用実績を踏まえ、設定しなおしました。令和 8 年度以降は現状維持で設定しています。

表 1.生活交通確保維持改善計画の目標

項目	現況値 (2025)	目標値			備考
		2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	
利用者数	48.8 人/日	48.8 人/日	48.8 人/日	48.8 人/日	現状維持を目標に設定
1 便当たりの 利用者数	2.3 人/便	2.3 人/便	2.3 人/便	2.3 人/便	現状維持を目標に設定
市民(成人)一 人あたりに換 算した負担額	37 円/月	37 円/月	37 円/月	37 円/月	現状維持を目標に設定

※現況値及び目標値はともに 3 月時点

(2) 事業の効果

網形成計画で掲げている 5 つの基本方針のもと、以下の効果を期待しています。

表-2.事業の効果

網形成計画の基本方針	「おでかけなんじい」に期待する効果
基本方針① 中核地を中心に市外へスムーズに移動できる公共交通網を形成する。	—
基本方針② 中核地等での乗り継ぎにより、スムーズに市内を移動できる公共交通網を形成する。	●公共交通との乗り継ぎ利用の支援
基本方針③ 誰でも気軽に利用できる身近な移動手段を確保する。	●移動制約者の外出支援 ●運行効率の向上
基本方針④ 再編による効果を高めるため、公共交通の利用環境を充実する。	●Nバス空白地域の補完
基本方針⑤ 南城市の活性化に向け、人の流れを活発にする。	●観光客の移動支援

3.2 の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

2. (1) で示した目標達成に向け下記の事業を実施します。

表-3.目標達成に向けた事業

事業	事業概要	事業主体
「おでかけなんじい」の継続運行	「おでかけなんじい」の運行を継続し、移動制約者の移動を支援する。	●南城市 ●運行事業者（鏡原第一交通）
公共交通だよりの発行	公共交通の利用を促すため、モビリティ・マネジメントの一環として、全世帯を対象に、年 2 回「公共交通だより」を発行する。	●南城市
運行計画の見直し	収支の改善や、運行の効率化を図るため、運行計画の見直しを検討する。	●南城市

4.地域公共交通確保維持事業による運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者

運行系統の概要及び運行予定者は以下の通りです。

表-4.「おでかけなんじい」の運行概要

項目	内容
名称	おでかけなんじい
デマンドバスの運行範囲	久高島を除く南城市全域
利用対象	南城市を訪れる観光客及び南城市民（年齢制限なし）
利用料金	一人一律、1回500円（未就学児は無料） ただし、75歳以上の市民は1回200円
運行形態	ドア to ドア方式の区域運行（フルデマンド）
運行期間	令和7年10月1日（火）～
運行曜日	平日・土曜日・日祝日の毎日 ※12/31～1/3は除く
運行時間帯	平日：9～18時（9時台～17時台の1時間おきに運行） 土曜日及び日祝日：9時～16時（9時台～15時台の1時間おきに運行） 平日は3台/時運行、土曜日・日祝日は2便/時運行
導入車両	5人乗り車両を最大3台
利用方法	観光客は登録不要。南城市民は登録制で、利用したい便の30分前までに電話にて予約。ただし、9時台は前日までの予約が必要。
運行予定者	株式会社鏡原第一交通

表-5.「おでかけなんじい」の運行便数

曜日	運行時間帯									計
	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	
平日	3	3	3	3	3	3	3	3	3	27
土曜日	2	2	2	2	2	2	2	—	—	14
日祝日	2	2	2	2	2	2	2	—	—	14

6.2 の目標・効果の評価手法及び測定方法

2 で示した目標、効果については以下の手法で把握します。

表-7.目標・評価の把握方法

区分	項目	把握方法
目標	利用者数	運行実績データより毎月の利用者数を把握
	1 便当たりの利用者数	//
	市民(成人)一人当たりに換算した負担額	年度毎に収支の実績値より把握
効果	公共交通との乗り継ぎ利用の支援	運行実績データより、バス停での乗降者数を整理することで把握
	移動制約者の外出支援	運行実績データより、75 歳以上の利用状況を把握。公共交通計画改訂時に実施する市民アンケートで、運転免許証非保有者の利用状況を把握
	運行効率の向上	運行実績データより、平均乗車人員を把握
	N バス空白地域の補完	運行実績データより、行政区別の利用状況を整理し、N バス空白地域となっている行政区の利用状況を把握
	観光客の移動支援	運行実績データより、観光客の利用者数、移動先を把握

7.別表 1 の補助対象事業の基準ホただし書きに基づき、協議会が平日 1 日当たりの運行回数が 3 回以上で足りると認めた系統の概要【地域間幹線系統のみ】

該当なし

8.別表 1 の補助事業の基準ニに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」認めた市町村の一覧【地域間幹線系統のみ】

該当なし

9.生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項【地域間幹線系統のみ】

該当なし

10.地域内公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要【地域内フィーダー系統のみ】

人口：44,043人

人口集中地区：なし

交通不便地域等：市内全域（沖縄振興特別法による）

公共交通に関する計画の策定状況

- ・南城市地域公共交通網形成計画 2017年3月策定（計画期間：2017年度～2026年度）
- ・南城市地域公共交通再編実施計画 2019年9月策定（計画期間：2019年度～2026年度）

11.車両の取得に係る目的・必要性【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

12.車両の取得に係る定量的な目標・効果【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

13.車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

14.老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策）【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

15.貨客混載の導入に係る目的・必要性【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

16.貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

17.貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

18.協議会の開催状況と主な議論

年度	回数	開催日	主な報告・協議事項
R6	第1回	令和6年4月30日(火)	●Nバスおよびおでかけなんじいの利用状況について ●令和6年度の取組(案)について ●南城市地域公共交通網形成計画別紙(案)について 等
	第2回	令和6年8月30日(金)	●Nバス及びおでかけなんじいの運行経費について ●各種調査・検討の進め方について 等
	第3回	令和7年2月18日(火)	●各種調査結果の報告について 等
R7	第1回	令和7年4月14日(月)	●Nバス及びおでかけなんじいの利用状況について ●今年度の取組について ●南城市地域公共交通網形成計画別紙(案)について 等

21.利用者等の意見反映状況

平成27年9月

デマンドバス登録者アンケート、観光客アンケート、デマンドバス利用者座談会を実施。向陽高校までの延伸、回数券導入等の改善策検討の基礎資料として活用。(向陽高校までの延伸は同年11月に、回数券の導入は翌28年4月に実施)

平成27年11月～平成28年1月

車内にてデマンドバス利用者アンケートを実施。利用者満足度を生活交通確保維持改善計画の評価指標として採用。

平成28年9月

市民アンケート調査を実施。「おでかけなんじい」の利用状況等を把握し、網形成計画策定において「おでかけなんじい」の役割等の検討に活用。

平成28年10月～12月

ワークショップを開催。「おでかけなんじい」の利用状況や、要望等を把握し、網形成計画の策定において活用。

平成28年11～12月

ヒアリング調査(交通事業者、観光事業者、商業施設、高校等)を実施。「おでかけなんじい」の利用状況や、交通へのニーズ等を把握し、網形成計画の策定において活用。

平成29年2月

網形成計画のパブリックコメントを実施。

平成 29 年 7～8 月

小・中・高校生アンケート調査を実施。登下校の実態や、登下校時に移動ニーズを把握し、今後は「おでかけなんじい」ではなく、路線バスで登下校の足を確保するという方向性を検討。

平成 30 年 9 月

観光客アンケートを実施。観光客の市内における移動ニーズや、市内の観光地を連絡するバスの利用意向、利用条件等を把握し、再編実施計画における利用者の予測等に活用。

令和 2 年 11 月

観光客アンケートを実施。観光客の市内における移動ニーズや、公共交通の利用状況、公共交通に対する要望等を把握、今年度実施予定の N バスの見直しに活用。

令和 2 年 11 月

市民アンケートを実施。「おでかけなんじい」や N バス等の利用状況や、評価、要望等を把握、今年度実施予定の N バスの見直しに活用。

令和 3 年 9 月

小中高生アンケートを実施。再編後の登校、下校の交通手段の実態や、「おでかけなんじい」や N バス等の利用状況や、評価、要望等を把握年度実施予定の N バスの見直しに活用。

令和 5 年 8 月

市民アンケート、観光客アンケートを実施。移動実態やニーズを把握。評価に関する調査結果は、南城市地域公共交通網形成計画の中間評価に活用。

令和 6 年 11 月

市民アンケート、小中高生アンケートを実施。移動実態やニーズを把握。おでかけなんじい、N バスの運行計画の見直し検討に活用。

22.協議会メンバーの構成員

区分	所属	役職等
副市長	南城市	副市長
学識者	琉球大学工学部	准教授
沖縄総合事務局運輸部長が指名する部署の長	運輸部企画室	室長
	運輸部陸上交通課	課長
沖縄県の公共交通を担当する部署の長	沖縄県企画部交通政策課	課長
道路管理者又はその指名する者	南部国道事務所	副所長
	南部土木事務所	技術総括
地元警察署において交通規制を担当する部署の長又はその指名する者	与那原警察署交通課	課長
一般旅客自動車運送事業者の組織する団体代表又はその指名する者	一般社団法人沖縄県バス協会	専務理事
	法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会	専務理事
一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転手が組織する団体代表者又はその指名する者	私鉄沖縄県労働組合連合会	執行委員長
一般乗合自動車運送事業者の代表者又はその指名する者	沖縄バス株式会社運輸部	部長
	株式会社琉球バス交通業務部業務課	課長
	東陽バス株式会社	運輸次長
一般乗用旅客自動車運送事業者の代表者又はその指名する者	合名会社山一交通	代表者
	大里タクシー合名会社	代表者
市民又は利用者を代表する者	南城市老人クラブ連合会	会長
	南城市民生委員児童委員連絡協議会	副会長
	南城市区長会	会長
その他	南城市商工会	副会長
	南城市観光協会	副会長

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 沖縄県南城市佐敷字新里 1870 番地

(所 属) 南城市役所企画部交通政策課

(氏 名) 系数 麻友子

(電 話) 098-917-5386

(e-mail) mayuko00701@city.nanjo.lg.jp